

東日本大震災特集記事 「すべては東北の為に」

今、私は本震災の災害派遣の為、石巻市に宿営し、主に南三陸町周辺で活動しています。

私達の部隊は、自衛隊の中でも特有の建設機械や土木技術を有する部隊で、現在は行方不明者捜索・瓦礫の除去・道路の補修といった活動を実施しています。

発災直後から現地に進入した我々の生活環境としては、長期間にわたるテント生活や缶詰の食事など厳しい環境ではありますが、被災地が日々少しずつ復旧していく姿や「自衛隊さん、ありがとう」という感謝の言葉だけを励みに黙々と任務を遂行しています。

このような厳しい任務に耐えられるのも、追手門時代の先生方に指導していただいた「敬愛・剛毅・上智」の志が根付いているからだと思っています。被災地の桜はまだ満開ではありませんが、早くあの大阪城の桜のように燦然と咲き誇り、また被災者の方々にも笑顔が溢れるような季節が一刻も早く訪れるよう、今後も全力で任務に邁進していきたいと思います。

「すべては東北の為に！」

2等陸尉 森口 恭丞 (小107期)



孫の誕生

川口 正弘
(小71・大中高14)

出産の為に実家のある福島市に里帰りしていた息子の貴司(小101期)の嫁が、地震の発生時には病院の分娩室にいて、全員避難勧告に従って屋外退去して乗り込んだお父さんの車の中で子供を生んだそうです。地震発生から27分後の3月11日15時13分のことでした。赤ん坊(陽生[はるき])が産湯に浸かったのは生後4日目の15日でした。



義援金チャリティーコンサート

in
KOBE



阪神・淡路大震災から15年目となる2010年に向けて、2008年から神戸で始ったレクイエム・プロジェクトというコンサート・プロジェクトを行っています。その後震災だけに限らず、「大切ないのちへの思い」をテーマに、自然災害や戦争で傷ついた地域を中心に、東京、沖縄、長崎、兵庫県佐用町などへ活動が広がっていますが、東日本大震災の発生を受けて、緊急の義援金チャリティーコンサートを3月19日に兵庫県佐用町で、3月25日に神戸で開催しました。



上田 益 (大高23) 上田(高田) 薫 (大中高24)

会報誌 義援金広告の募集

お問い合わせ 山桜会事務局: 06-6940-3481

山桜会広報委員会としては、末永く義援金活動を応援していく企画として、次号88号に「義援金広告」を募集する予定です。皆様のご協力をお待ちしております。